



すみれのたより

東横野
幼稚園

■東横野幼稚園の教育目標 「心豊かでたくましく意欲あふれる子どもの育成」

□具体目標 ・元気な子 ・やさしい子 ・友だちと遊ぶ子 ・がんばる子

平成31年度が始まりました!

平成31年度が始まりました。思い起こすと昨年は陽気がよくて、この時期、園庭の桜はすでに満開を過ぎて花吹雪が舞っていました。今年はしばらく寒気が続いていたせいかようやく蕾がほころび始め、桜の開花に合わせて進級式や入園式が実施できそうでよかったです。

さて、すみれのたより第1号発行に際してタイトルを「平成31年度始まる」としましたが、5月からは「令和」という新しい時代の幕開けとなります。いっそう「令和元年度」と呼んだほうがよりふさわしいのか迷ってしまいましたが、そんなことにはおかまいなく、東横野幼稚園では4月1日から新年度がすでにスタート。新たな仲間を迎え入れ、子どもたちの元気な声が園庭に響き、伸びゆく幼子のエネルギーが園内に満ち溢れているようです。

本年度も「すみれのたより」を本園2年目の中津瀬が担当いたします。遅筆で定期的な報告ができなくて申し訳なく思っていますが、できるだけ小まめに発行できればと考えています。ホームページにおいては、タイムリーに園の様子や各種情報をアップしていきますので、引き続きのチェックをどうぞよろしくお願いいたします。

年度始め恒例の教職員紹介や新しい園内組織についてお伝えいたします。

職名	氏名	担任・主な分掌
園長	中津瀬 隆	園経営全般
事務	小坂橋 優子	事務・予算管理
主任・主幹	石井 晴美	園運営全般・幼稚園部運営
主幹	中澤 郁代	保育部運営・子育て支援
教諭	三ツ石 綾子	年長すみれ組担任
〃	掛川 千鶴	年中さくら組担任
〃	三木 麻衣子	年少たんぼぼ組担任
〃	櫻井 絵美	満3歳れんげ組担任
〃	奈良 美和	預かり保育・ピヨピヨ教室
〃	青柳 美穂	預かり保育・たんぼぼ、さくら組補助
〃	野口 真希	預かり保育・れんげ組補助
〃	河原 美由季	預かり保育（10月まで育児休業中）
保育士	竹田 明美	預かり保育・たんぼぼ組補助
〃	宇田川福佐江	預かり保育（4月より任用）

全職員共通理解のもと、園運営に誠実に取り組んでいく所存です。なお、教職員の他、園児の健康・保健面、特別保育等で、以下の先生方には大変お世話になります。

- ◇園 医 内科園医 長嶋 完二 先生 歯科園医 室橋 信好 先生
- ◇園薬剤師 松江 勇 先生
- ◇体操教室 群馬ジュニアスポーツクラブ 後藤 信彦 先生
- ◇英語教室 中央外語学院 ルヴィ・サイトウ 先生
- ◇歌と読み聞かせ教室 星野 敏子 先生

4月1日現在の園児数

学級名	園児数	1号認定	2号（標準）	2号（短）
すみれ組	18	13	4	1
さくら組	27	17	6	4
たんぽぽ組	14	9	4	1
れんげ組	7	—	—	—
合 計	66	39	14	6

※れんげ組には、年度途中で3名が入園予定です。

東横野幼稚園で目指したい教育について

(1) 基本目標

「豊かでたくましく意欲あふれる子どもの育成」

(2) 具体目標

- 元気な子
 - ・よく食べよく遊び、元気なあいさつができる子どもの育成を目指します。
- やさしい子
 - ・思いやりの気持ちを持って行動できる子どもの育成をめざします。
- 友だちと遊ぶ子
 - ・譲り合い、仲間と協力して遊びを楽しむ子どもの育成を目指します。
- がんばる子
 - ・目標に向かって、最後までやり抜く子どもの育成を目指します。

幼児教育においては、「健康な心と体を育て、安全な生活をつくり出す力を養う」と同時に、「他の人々と支え合って生活するために自立心を育て、人とかかわる力を養う」ことがとても大切です。本園においては、上述の具体目標を常に意識しつつ、好奇心や探究心が発揮できる園環境の整備を心がけ、感じたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や創造性を養えるよう日々努めていきたいと考えています。年間を通して、いろいろな形で保護者や地域の方々のご支援・ご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしく願いいたします。

季節が一巡りました。昨今の頃のことあまり記憶がなく、相当緊張した日々を送っていたようです。幼児教育については全くの素人で、若い頃とは違って環境に慣れるまでにかなりの期間を要したように感じます。それでも、子どもたちの顔と名前が次第に一致し始め、保護者の方と親しくお話ができるようになった夏頃から、記憶が鮮明になってくるのが分かります。呼応するかのようにホームページ最初のインデックス写真は「夏祭り」。それ以降、年度末までにアップした写真はぴったり100枚となりました。（とりわけ空飛ぶペンギンは私のベストに近いショットです！）100のシーンの思い出とともにその時の空気や感触をリアルに蘇らせることもできそうです。さて、今年度は子どもたちが「どんな写真を撮らせてくれるのか」楽しみでもあり、それなりの緊張感もあります。（中津瀬）